

# 造骨型転移性骨腫瘍の骨強度低下に関連する因子の検討

## 1. 研究の対象

2013年1月～2020年5月に当院で前立腺癌、乳癌、肺癌等の骨転移に対しCT検査を施行された方

## 2. 研究目的・方法

癌の骨転移は全ての前立腺癌、乳癌患者の65～75%に発生し、骨折のリスクになることが知られています。骨折が起こってしまうと、歩けなくなったり手術が必要になるだけでなく、生命予後にも影響を与えるため、骨折を未然に防ぐことが重要です。しかし、前立腺癌のように見かけ上骨が硬くなったように見える骨転移（造骨型）は、骨が溶けるタイプの骨転移（溶骨型）に比べ、リスクの判断が難しく、骨折を起こしてしまう患者さんが少ないため、精度の高い新たな骨折リスク評価法の開発が望まれています。

本研究は2013年1月から2020年5月までの期間に治療上の必要に応じて撮影されたCT画像、および手術で摘出された組織を使用する後方視的研究（既に行われた診療の情報をさかのぼって調査し検討すること）です。診療で得られたCT画像を元に造骨型骨転移の骨密度や骨の微細構造を詳細に調べ、また実際の骨組織を顕微鏡で観察し、造骨性骨転移において骨の強度が低下する原因を調査します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報・試料はすべて匿名化され研究に使用します。

情報：CT画像、病歴、年齢、治療薬、病理所見、血液検査 等

試料：病理検体

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校病院 整形外科学講座 力武 創（研究責任者）

TEL:04-2995-1211 内線 2345